

# 第5学年音楽科学習指導案

日 時 平成20年11月11日(火) 4校時  
児 童 5年(男20名 女14名 計34名)  
場 所 音楽室  
指導者 飛澤のり子

## 1 題材 「日本の音楽を味わおう」

### 2 題材設定の理由

指導要領の第5・6学年の目標には(3)音楽の美しさを味わって聴き、様々な音楽に親しむようにする、と挙げられている。本題材は、次に示す内容に迫るためのものであると考える。

(学習指導要領の内容との関連)

- A 表現 (2) 曲想や音楽を特徴付けている要素を感じ取って、工夫して表現できるようにする。  
ア、歌詞の内容や楽曲の構成を理解して、それらを生かした表現の仕方を工夫すること。
- B 鑑賞 (1) 音楽を聴いてそのよさや美しさを味わうようにすること。  
ア、曲想全体を味わって聴くこと。

児童にとって、「味わう」とは、その楽曲の特徴を感じ取り、構成を理解する学習の上に成り立つ。その上で感じ取った美しさやよさを言葉にしたり、聴き入ったりすることが「味わう」ことにつながると考える。本題材で扱う教材は、歌唱教材として「スキーの歌」、鑑賞教材として、「浜辺の歌」「待ちぼうけ」「荒城の月」の4曲である。「スキーの歌」「浜辺の歌」「荒城の月」の歌詞は文語体で書かれており、言葉の意味を理解する活動が必要となるが、口語体にはない端的な表現の仕方が歌詞全体を引き締めている。これら4つの歌曲は、今も歌い継がれる優れた作品であり、美しい日本語の歌詞から情景を想像することができるとともに、言葉とそれを生かした旋律とが一体になった美しさをもつ作品である。それぞれの曲の異なる特徴をつかませながら表現の工夫をしたり聴いたりすることで、言葉の美しさを味わったり、日本語の語感を生かした旋律の美しさを味わったりする学習を展開していきたい。

児童は、4年生における各地方に伝わる民謡や祭り囃子などの鑑賞や本校で取り組んでいる郷土芸能「新田さんさ」を通し、日本の音楽に親しむ学習を行っている。また、5年生の1学期には、「アジアの音楽に親しもう」において、アジア諸国の音楽を聴き比べ、使われている楽器や曲想の違いを感じ取りながら、聴いたり歌ったりする学習を行った。それにつながる日本の節づくりにおいては、アジアの音楽と日本の音楽との似ている点や違いを話し合ったり、日本の伝統的な音楽や旋律の特徴をつかみ、創作活動を行ったりしてきた。

児童は、それぞれの音楽の持つよさや美しさを受け止め、自分が感じたことを素直に話そうという意欲的な態度で学習に臨んでいる。しかし、感じたよさを伝え合う、味わうといった学習において、音楽の持つ諸要素を取り上げ、その要素が音楽全体をどの様に彩っているか、どういった美しさを生み出しているか、という視点で捉えることはまだ十分ではない。また、楽曲全体から感じ取ったことを言葉で表現するとしても、どういった言葉を挙げたらよいか、と考える児童が多い。

そこで、言葉の引き出しを増やし、より豊かな表現で楽曲を捉えることができるような活動を取り入れ学習を展開していきたい。さらに、楽曲を味わうために、具体的に要素を取り上げて比較する活動を通し、要素をもとに全体を捉えられるような素地を養っていきたい。

### 3 題材のねらい

- ・ 歌詞と旋律のかかわりや人の声の特徴を感じ取って、日本の歌曲の美しさを味わうようにする。

### 4 教材

- ・ 浜辺の歌 (林 古溪 作詞/成田 為三 作曲)
- ・ 待ちぼうけ (北原 白秋 作詞/山田 耕作 作曲)
- ・ 荒城の月 (土井 晩翠 作詞/滝 廉太郎 作曲)
- ・ スキーの歌 (文部省唱歌/林 柳波 作詞/橋本 国彦)

## 5 教材選択の観点

### (1) 鑑賞教材

「浜辺の歌」……長調の8分の6拍子による優美な旋律が特徴となっている。寄せては返す波を思わせる伴奏とあいまって、歌詞の美しさも引き立てられている作品である。

「待ちぼうけ」…軽快でリズムカルな旋律であり、歌詞と旋律のかかわりを十分に感じ取ることができる作品である。

「荒城の月」……短調の緩やかで落ち着いた旋律であり、他の2曲の鑑賞教材と比べながら、感じの違いを聴き分けることができる作品である。

### (2) 歌唱教材

「スキーの歌」…軽快なテンポとリズムで、山を滑り降りるスキーの風を肌で感じるような生き生きとした曲想であり、歌詞の意味を理解しながら、表現の工夫を感じ取ることができる作品である。

## 6 題材の評価規準

- (1) 日本の歌曲に関心を持って、進んで聴いたり表現したりしようとしている。(関心・意欲・態度)
- (2) 歌詞の表す情景を想像したり、歌詞と旋律のかかわりを感じ取ったりすることができる。(音楽的な感受)
- (3) 日本の歌曲の言葉や旋律の美しさを味わったり、人の声の特徴を感じ取ったりしながら聴くことができる。(鑑賞)

## 7 指導計画 (全5時間)

時	学習内容	評価規準 【 】は評価の観点 ( )は評価の方法
1	日本の音楽を聴き、それぞれの曲想と歌い方の違いや美しさを感じ取る。	【鑑】歌声の響きの美しさや旋律の特徴を感じ取って聴くことができる。(ワークシート、発言の内容、鑑賞中の様子の観察)
1	「待ちぼうけ」の歌詞の表す内容と旋律の動きや音楽の感じがあるところを考え、表現の面白さや場面ごとの歌い方の工夫を感じ取る。	【感受】歌詞のもつリズムや旋律の抑揚を生かした表現の面白さ、場面にあった歌い方の工夫に気づくことができる。(ワークシート、観察)
1	「スキーの歌」の歌詞から情景を思い浮かべ、強弱や速度などがどのように工夫されているか、旋律とのかかわりを感じ取って歌う。	【関】歌詞の意味や旋律とのかかわりを理解し、進んで歌おうとしている。(観察) 【感受】情景を思い浮かべて、旋律とのかかわりを感じ取ることができる。(観察、ワークシート)
1 本時	「浜辺の歌」「荒城の月」の旋律の特徴やそれぞれの歌曲の美しさやよさを見つけ、伝え合う。	【鑑】それぞれの歌曲の曲想の特徴や歌曲のよさを味わって聴くことができる。(ワークシート、発言、観察)
1	様々な日本の音楽を味わって聴きながら、自分のおすすめの曲を選び、旋律の特徴やその歌曲のよさを考え、紹介文でまとめる。	【鑑】様々な歌曲の曲想の特徴やよさ、美しさを味わって聴くことができる。(ワークシート、発言、観察)

## 7 本時の指導

### (1) 目標

日本の歌曲の美しさやよさを味わって聴く。(鑑賞)

### (2) 展開

段階	●学習内容 ・主な学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
導入 1 0 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「スキーの歌」を斉唱し、どんな要素をもとに美しさを見つけたか振り返る。</li> <li>・ワークシートを見て、どのような要素をもとに特徴を感じ取ったかを確認する。</li> <li>●本時の学習課題を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時までのワークシートに書いた内容を確認しながら、ふり返らせるようにする。</li> <li>○展開につながるエピソードを確認し、児童の本時の活動への課題意識と関心を高めるようにする。</li> </ul>
展開 3 0 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2曲を聴き、美しさやよさを見つける。</li> <li>・2曲を聴きながら、それぞれのよさや美しさをワークシートに書く。</li> <li>・どの要素から「浜辺の歌」と「荒城の月」の美しさやよさが見つけられたか話し合う。</li> <li>●それぞれの美しさやよさを伝え合う。</li> <li>・友達の発表を聞きながら、共感できること、ちょっと違う感じ方など、意見の交換をしあう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見つける視点を確認し、児童が音楽の諸要素（速度、リズム、強弱、旋律）をもとによさを比較できるようにする。</li> <li>○言葉をうまく見つけられない児童が、ヒントとしてこれまで見つけた言葉をもとに活動できるよう、言葉ボックスコーナーを設ける。</li> <li>○「味わいお届け人 おすすめのひと言」として伝える内容が、美しさやよさを感じ取った視点をもとにかかれるようにするため、児童がスムーズに書き進められるようにするため、書き方の基本的な方を示すようにする。</li> <li>◆音楽の諸要素と関わらせ、おすすめの紹介文を自分の言葉で書き表すことができる。(ワークシート)</li> <li>○児童の発表を聞き、美しさやよさを感じ取った音楽の諸要素がどれであったかをはっきりさせる。</li> <li>◆自分の感じたその曲の美しさやよさを伝えることができる。(発言)</li> </ul>
終末 5 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本時の学習を振り返る。</li> <li>・2つの観点で自己評価させる。</li> <li>・本時の感想を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己評価の理由も聞くようにする。</li> <li>〈自己評価の観点〉</li> <li>・はじめに聴いたときよりも2つの歌のよさを感じ取ることができたか。</li> <li>・友だちの考えと自分の考えを比べて伝えることができたか。</li> </ul>

### (3) 具体の評価規準

十分満足できる	概ね満足できる	支援の手立て
それぞれの歌曲の美しさやよさを、音楽の諸要素と関わらせて伝えることができる。	それぞれの歌曲の美しさやよさを感じ取り、音楽の諸要素と関わらせて紹介文にまとめることができる。	書くこと、はなすことが困難な児童には、歌曲のそれぞれの特徴をつかんだかどうか聞き取り、自分の好きなどころや良いと思うところを言葉ボックスコーナーのカードなどを用いながら選ばせるようにする。

(4) 板書計画

**味わいお届け人「おすすめのひと言」**

**課題**

二つの歌曲を聴き、それぞれの美しさやよさを伝えよう

**浜辺の歌**

はじめは、  
きれいな感じ

何回も聴くと見えるよさ

- 波の感じに会うように、流れるように歌っているのが気持ちいいです。
- ピアノの伴奏が波のように流れていて、この局の全体のイメージに合うように作られているところがいいですよ。

**荒城の月**

はじめは、  
こわくてくらい感じ

何回も聴くと見えるよさ

- リズムが一つ一つ分かれていて、重く静かな、悲しい感じがして、この曲のよさを引き出していると思います。
- 速さがゆっくりで、この曲の月の光や夜の感じが表れていて美しいと思います。
- 悲しいメロディが、武士の時代は城も栄えていたのに、今は、誰もいない切ない感じを表していて美しいです。

**味わいお届け人**  
**おすすめのひと言の書き方**

- 歌詞やメロディの～な感じにあうように、～な風に歌っているのがわかります。
- リズム、速さ、強弱、メロディが、  
 { ~だから美しいと思います。  
 ~なので、おすすめです。
- ピアノの伴奏が～だから～な気持ちになりますよ。

(5) 補助黒板板書計画

**味わいのエッセンス**

人の声の音色

リズム

速さ

旋律の動き

強弱

歌詞とメロディのかかわり

浜辺の歌	高い ひびくような	流れるような	ゆったりとした	波を思い浮かべるような 明るいがしっとりした	風の音よ～強くなり、最後にまた静かになる感じが波を思わせる	寄する波を表すようなメロディ 朝の海のさわやかな感じが現れている
荒城の月	暗い 切ない	一つひとつ落ち着いた感じ	ゆっくりで語るような	悲しく切ない感じ	千代の松が枝～弱くなる昔は栄えていたが、今は、と いかなしさがある	悲しい歌詞と寂しいメロディが合っている